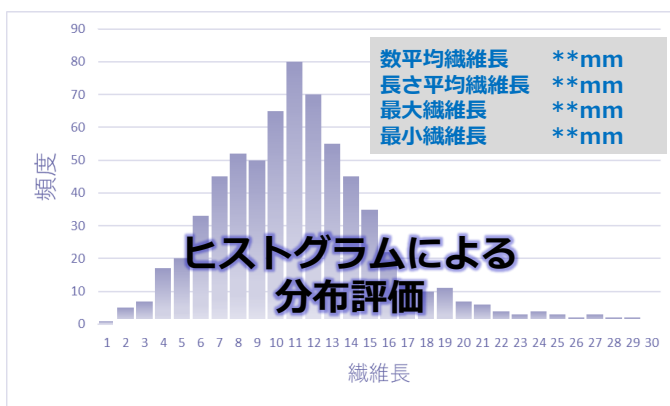
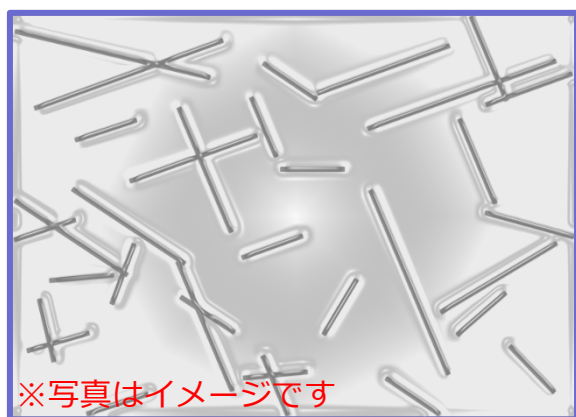


樹脂にガラス繊維等フィラーが含まれたリサイクル材においては再生後の繊維長分布も重要な要素となってきます。弊社ではリサイクル、粉碎後のサンプルの繊維長分布の解析が可能です。弊社所有の粉碎機を用いて粉碎から評価まで行う事も可能です。

◆繊維長評価



- ・ 光学顕微鏡で繊維の写真を撮影し、**画像解析**により各々のガラス繊維を検出。
- ・ 繊維長、数量の情報を基に、ヒストグラム等で分布評価が可能。
- ・ その他に数平均繊維長、長さ平均繊維長、最大繊維長、最小繊維長なども算出

ガラス繊維等を含む樹脂材料の残存繊維長の評価は、適切なリサイクル方法の検討にも活用可能。

▼関連資料

- ・ [SEM-EDXによる異物のマッピング分析](#)
- ・ リサイクル材の粉碎

お問合せ先 株式会社ロンビック 樹脂検査分析センター

〒510-0871 三重県四日市市川尻町1000番地

TEL: 059-345-7622

E-mail: MCJP-DG-RBC_JUSHIBUNSEKI@mcgc.com

FAX: 059-345-7174

URL: <http://www.rhombic.co.jp/>

(55IP02:2501)